

「夢はでっかく 根はふかく」

新春を迎え、市民の皆様方には謹んで新年のお喜びを申し上げますとともに、日頃から府中市教育への深い御理解と厚い御支援、御協力を賜り、心から御礼を申し上げます。

さて、新たな一年を迎えるにあたり、今年1年の抱負を考えている方もおられるのではないのでしょうか。抱負は自分自身の1年間の目標や意気込みであり、大切にすることで上手くいくともいわれています。

そこで、新年を迎えるにあたり、私が大切にしている言葉の一つを皆様に紹介したいと思います。それは「夢はでっかく 根はふかく」という言葉です。

この言葉は、1984年、初詩集『にんげんだもの』がミリオンセラーとなった詩人・書家である相田みつをさんが残した言葉です。言葉の意味は、『”大きな木”は地中深くまで普段は目に見えない根を伸ばしているもので、もし根が大きく育っていないと、それ以上大きな木になろうと枝を伸ばしたら、重みに耐えられずに倒れてしまう。同じように”人”として大きくなろうと思うなら、目に見えない根の部分を深く深く伸ばしていかななくてはならない。』というものです。

つまり、『大きな夢を持ち成し遂げるためには、しっかりと地中に根を張っていくことが大事である』ということを感じさせてくれる言葉です。

新年を迎え、入学を迎える人もいれば、学校を卒業される人もいます。受験を迎える人、就職される人、成人になられる人、自分の夢に向かって更に努力されている人など、人それぞれに進む道があります。その道を進むには困難もあろうかと思いますが、「夢はでっかく 根はふかく」という言葉を心に留めてますます飛躍されることを願っております。

教育長を拝命し2年目を迎えます。子供たちのため市民のためにできることはないかと常に考えています。皆様の幸せを実現することが私の目標であり、今年の抱負であります。

チーム一丸となって目指す目標を共有し、決して精神論としてまとめるのではなく、「夢はでっかく 根はふかく」という言葉を大切に、行動し全力を尽くしてまいります。結びになりますが、本年が皆様一人一人にとって、実り多き素晴らしい一年となりますよう、心からお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

令和5年1月1日 府中市教育長 荻野 雅裕